



# 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月12日

上場会社名 オイレス工業株式会社  
コード番号 6282 URL <https://www.oiles.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂入 良和  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 企画管理本部長 (氏名) 米山 操  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 0466-44-4901

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	49,716	2.2	5,220	12.2	5,638	11.6	3,969	11.6
2024年3月期第3四半期	48,659	6.2	4,651	29.1	5,053	20.5	3,556	37.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 5,420百万円 (8.6%) 2024年3月期第3四半期 5,932百万円 (11.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	130.38	
2024年3月期第3四半期	115.38	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	91,918	76,344	82.4	2,512.56
2024年3月期	95,075	74,900	78.1	2,413.91

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 75,708百万円 2024年3月期 74,255百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		35.00		40.00	75.00
2025年3月期		37.00			
2025年3月期(予想)				38.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,700	1.5	6,200	15.0	6,600	15.3	4,500	17.8	148.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	33,300,505 株	2024年3月期	33,300,505 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期3Q	3,168,407 株	2024年3月期	2,539,181 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	30,448,808 株	2024年3月期3Q	30,820,240 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10
3. 補足情報 .....	11
(1) 受注及び販売の状況 .....	11
(2) 地域ごとの売上高 .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、個人消費やインバウンド需要の回復、設備投資等が堅調に推移するなど景気持ち直しの動きがある一方、世界的な金融引き締めや中国経済など海外景気の下振れリスク、不安定な国際情勢への懸念、米国の今後の政策動向等から、依然として不確実性が残る状況が継続しました。このような環境の中、当企業グループでは「OILES 2030 VISION」として「持続可能な社会の実現を、摩擦・摩耗・振動の技術+Xで貢献する」を長期ビジョンとし、コア技術である摩擦・摩耗・振動の技術「トライボロジー&ダンピング」によって社会課題の解決と企業価値向上をはかるとともに、さらに「新技術・新規事業創出」と「経営基盤の高度化」による「+X」で持続可能な社会の実現への貢献を目指しております。また、この長期ビジョンに向かう3年間として「中期経営計画2024-2026」を策定しております。当中期経営計画においては、事業部門はオイレスグループの事業成長を牽引するための積極的な設備投資を実施するとともに、本社組織はその成長の支えとなる社内基盤や経営インフラを高度化し、事業部門と本社組織の両輪で「変革」と「進化」へ取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は49,716百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益は5,220百万円(前年同期比12.2%増)、経常利益は5,638百万円(前年同期比11.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,969百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### <一般軸受機器>

中国経済は依然として低迷が続いている一方で、国内の成形機や工作機械向け売上は順調に推移しました。加えて、半導体製造装置や再生可能エネルギー向けの拡販が進み、前年同期を上回る売上、利益となりました。

この結果、一般軸受機器の売上高は11,365百万円(前年同期比6.3%増)、セグメント利益は1,030百万円(前年同期比21.7%増)となりました。

#### <自動車軸受機器>

国内の一部自動車メーカーの生産停止の影響を断続的に受けた一方、海外は北米、中国、インド等で非日系顧客を含む拡販が進んだこと等に加え、固定費の抑制を進めたことで前年同期を上回る売上、利益となりました。

この結果、自動車軸受機器の売上高は25,144百万円(前年同期比4.3%増)、セグメント利益は2,722百万円(前年同期比43.6%増)となりました。

#### <構造機器>

橋梁向け製品においては、高速道路や新幹線関連等の大型案件を含め、堅調に推移しました。建築向け製品は、前期に引き続いてロジスティクスセンターや都市再開発物件向け等が完工したものの、人手不足等により予定していた物件の工期遅れが複数ありました。このような背景により高利益率を確保したものの物件の期ズレの影響が大きく、構造機器セグメント全体では前年同期を下回る売上、利益となりました。

この結果、構造機器の売上高は7,674百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント利益は1,230百万円(前年同期比16.6%減)となりました。

#### <建築機器>

ウィンドウオペレーターのビル向けリニューアル物件は堅調に推移しましたが、新規物件および住宅向け製品の物件数は前期と比べて減少し、売上、利益ともに前年同期を下回りました。

この結果、建築機器の売上高は4,227百万円(前年同期比9.5%減)、セグメント利益は166百万円(前年同期比54.1%減)となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ、総資産は3,157百万円減少、負債は4,601百万円減少、純資産は1,444百万円増加した結果、自己資本比率は前連結会計年度より4.3ポイント増加して82.4%となりました。

資産の増減の主なものは、流動資産では現金及び預金の486百万円の減少、受取手形及び売掛金の4,781百万円の減少であり、固定資産では有形固定資産の849百万円の増加、投資有価証券の795百万円の増加であります。

負債の増減の主なものは、流動負債では支払手形及び買掛金の2,171百万円の減少、未払法人税等の1,239百万円の減少であり、固定負債では長期借入金の1,150百万円の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年11月8日公表の業績予想から変更はありません。

<業績等の予想に関する注意事項>

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算出しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化などにより、この資料に記載されている予想とは異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,314	24,828
受取手形及び売掛金	22,597	17,815
商品及び製品	4,538	4,430
仕掛品	4,253	4,316
原材料及び貯蔵品	3,882	4,185
その他	1,027	1,141
貸倒引当金	△24	△34
流動資産合計	61,590	56,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,167	11,319
機械及び装置(純額)	5,585	5,370
土地	2,943	2,958
その他(純額)	2,407	3,305
有形固定資産合計	22,103	22,952
無形固定資産	361	396
投資その他の資産		
投資有価証券	8,373	9,168
退職給付に係る資産	193	376
その他	2,472	2,352
貸倒引当金	△18	△11
投資その他の資産合計	11,020	11,885
固定資産合計	33,485	35,234
資産合計	95,075	91,918

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,060	5,888
1年内返済予定の長期借入金	1,090	1,095
未払法人税等	1,578	339
賞与引当金	1,307	661
役員賞与引当金	113	87
株主優待引当金	122	—
その他	3,783	4,028
流動負債合計	16,056	12,100
固定負債		
長期借入金	1,150	—
役員退職慰労引当金	20	21
役員株式給付引当金	157	196
退職給付に係る負債	647	692
その他	2,143	2,562
固定負債合計	4,119	3,472
負債合計	20,175	15,573
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,585	8,585
資本剰余金	9,615	9,615
利益剰余金	53,730	55,333
自己株式	△4,516	△6,054
株主資本合計	67,414	67,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,378	3,983
為替換算調整勘定	3,852	4,596
退職給付に係る調整累計額	△389	△350
その他の包括利益累計額合計	6,840	8,229
非支配株主持分	645	636
純資産合計	74,900	76,344
負債純資産合計	95,075	91,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	48,659	49,716
売上原価	32,568	32,443
売上総利益	16,091	17,273
販売費及び一般管理費	11,440	12,052
営業利益	4,651	5,220
営業外収益		
受取利息	97	135
受取配当金	208	223
為替差益	299	—
受取保険金	98	—
その他	160	203
営業外収益合計	864	562
営業外費用		
支払利息	11	8
為替差損	—	44
デリバティブ評価損	438	65
その他	12	25
営業外費用合計	462	143
経常利益	5,053	5,638
特別利益		
投資有価証券売却益	273	105
特別利益合計	273	105
特別損失		
固定資産処分損	37	45
投資有価証券売却損	23	8
投資有価証券評価損	70	—
システム障害対応費用	—	※ 76
特別損失合計	131	130
税金等調整前四半期純利益	5,195	5,614
法人税等	1,602	1,627
四半期純利益	3,593	3,987
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,556	3,969

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,593	3,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	557	605
為替換算調整勘定	1,748	788
退職給付に係る調整額	33	39
その他の包括利益合計	2,339	1,433
四半期包括利益	5,932	5,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,851	5,358
非支配株主に係る四半期包括利益	81	61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(取締役及び執行役員に対する株式給付信託(BBT)の導入)

当社は、2018年6月28日開催の第67回定時株主総会決議に基づき、当社の取締役(社外取締役を除きます。)及び執行役員(以下、「取締役等」といいます。)に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、「本信託」といいます。)を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」といいます。)が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、当社取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として当社取締役等の退任時となります。

連結貸借対照表に計上した本制度にかかる株式会社日本カストディ銀行が保有する当社株式は、前連結会計年度末221百万円(95千株)、当第3四半期連結会計期間末221百万円(95千株)であります。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引の再導入)

当社は、2020年11月4日開催の取締役会決議に基づき、従業員の福利厚生増進及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として、「株式給付信託(従業員持株会処分型)」(以下、「本制度」といいます。)を再導入しております。本制度は、「オイレス従業員持株会」及び「オイレスグループ従業員持株会」(以下、「持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象に、当社株式の株価上昇メリットを還元するインセンティブ・プランです。本制度の導入にあたり、当社は、当社を委託者、みずほ信託銀行株式会社を受託者とする「株式給付信託(従業員持株会処分型)契約書」(以下、「本信託契約」といいます。)を締結します(本信託契約に基づいて設定される信託を「本信託」といいます。)。また、みずほ信託銀行株式会社は株式会社日本カストディ銀行との間で、株式会社日本カストディ銀行を再信託受託者として有価証券等の信託財産の管理を再信託する契約を締結します。株式会社日本カストディ銀行は、信託E口において、本信託設定後5年間にわたり持株会が購入することが見込まれる数に相当する当社株式をあらかじめ一括して取得し、以後、持株会の株式購入に際して当社株式を売却していきます。信託E口による持株会への当社株式の売却を通じて、信託終了時まで、本信託の信託財産内に株式売却益相当額が累積した場合には、かかる金銭を残余財産として、受益者適格要件を充足する持株会加入者

(従業員)に分配します。他方、当社は、信託銀行が当社株式を取得するための借入に際し保証をするため、当社株価の下落等により、信託終了時において、株式売却損相当額の借入残債がある場合には、保証契約に基づき当社が当該残債を弁済することとなります。信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。

当該自己株式の帳簿価額は、前連結会計年度末147百万円(99千株)であります。当第3四半期連結会計期間末においては、信託に残存する当社株式はありません。総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額は、前連結会計年度末55百万円であります。当第3四半期連結会計期間末においては、該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ システム障害対応費用

2024年6月7日に発生した不正アクセス攻撃によるシステム障害に係る諸費用であります。

主な内訳は本件の調査を依頼している外部専門家への原因調査費用及びシステム復旧費用であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,482百万円	2,544百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	一般 軸受機器	自動車 軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	10,694	24,118	7,867	4,673	47,353	1,305	48,659	-	48,659
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2	-	-	0	2	53	55	△55	-
計	10,696	24,118	7,867	4,673	47,356	1,359	48,715	△55	48,659
セグメント利益 又は損失(△)	847	1,895	1,474	362	4,580	72	4,652	△1	4,651

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、伝導機器事業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	一般 軸受機器	自動車 軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	11,365	25,144	7,674	4,227	48,412	1,304	49,716	-	49,716
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2	-	-	0	2	21	24	△24	-
計	11,367	25,144	7,674	4,227	48,415	1,325	49,741	△24	49,716
セグメント利益 又は損失(△)	1,030	2,722	1,230	166	5,150	67	5,217	2	5,220

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、伝導機器事業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

#### (1) 受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
一般軸受機器	2,197	14.1	11,517	22.5	11,365	22.9	2,350	13.8
自動車軸受機器	1,322	8.5	24,982	48.7	25,144	50.6	1,159	6.8
構造機器	10,395	67.0	9,124	17.8	7,674	15.4	11,844	69.2
建築機器	1,181	7.6	4,207	8.2	4,227	8.5	1,161	6.8
報告セグメント計	15,096	97.2	49,832	97.2	48,412	97.4	16,516	96.6
その他	439	2.8	1,441	2.8	1,304	2.6	577	3.4
合計	15,536	100.0	51,273	100.0	49,716	100.0	17,094	100.0

前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
一般軸受機器	2,175	12.1	10,563	20.7	10,694	21.9	2,045	10.2
自動車軸受機器	884	4.9	24,773	48.9	24,118	49.6	1,538	7.7
構造機器	12,648	70.4	9,217	18.2	7,867	16.2	13,998	69.9
建築機器	900	5.0	4,955	9.8	4,673	9.6	1,181	5.9
報告セグメント計	16,608	92.4	49,509	97.6	47,353	97.3	18,764	93.7
その他	1,372	7.6	1,196	2.4	1,305	2.7	1,263	6.3
合計	17,981	100.0	50,706	100.0	48,659	100.0	20,028	100.0

前連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
一般軸受機器	2,175	12.1	14,180	21.3	14,158	20.6	2,197	14.1
自動車軸受機器	884	4.9	32,812	49.5	32,374	47.1	1,322	8.5
構造機器	12,648	70.4	11,030	16.6	13,283	19.3	10,395	67.0
建築機器	900	5.0	6,670	10.1	6,389	9.3	1,181	7.6
報告セグメント計	16,608	92.4	64,694	97.5	66,206	96.3	15,096	97.2
その他	1,372	7.6	1,626	2.5	2,558	3.7	439	2.8
合計	17,981	100.0	66,320	100.0	68,765	100.0	15,536	100.0

(2) 地域ごとの売上高

前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
30,354	4,597	2,892	10,426	388	48,659

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
 2. アジアのうち、中国向け売上高は5,284百万円です。

当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
30,483	4,753	2,923	11,137	418	49,716

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
 2. アジアのうち、中国向け売上高は、5,671百万円です。